

# 沖縄版グリーン・ニューディールの策定の目的

環境と経済に関する  
考え方を整理

## 沖縄県版GND

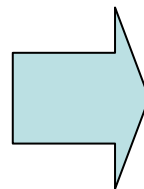
- 「環境保全と経済発展が両立する社会づくり」の具体的な考え方を示す。
- 環境施策の展開方向を経済性を踏まえて検討
- 具体的施策を示すことにより、各種計画への導入を促す。

1. ちゅら島の環境と開発の調和

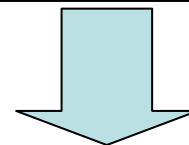
2. 環境共生型観光の推進

3. 環境にやさしいまちづくり

4. 新環境産業・リサイクルの推進



新たな環境対策を積極的に講じることにより、豊かな自然環境の保全及び経済発展・雇用の創出に繋げる。



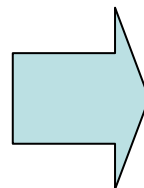
具体的な施策の提示・計画への反映

## 環境関連の各計画

- 沖縄県地球温暖化対策実行計画
- 沖縄県廃棄物処理計画
- …その他計画

## 他部局の各計画

- 沖縄県観光振興計画
- 沖縄県農林水産業振興計画
- 職業安定計画
- …その他計画



## 進むべき方向性

- 沖縄21世紀ビジョンの実現（目指すべき将来像）
- ・沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
  - ・希望と活力にあふれる豊かな島
  - ・世界に開かれた交流と共生の島

# 沖縄県版グリーン・ニューディール(GND)イメージ

## ちゅら島沖縄の環境による島おこし

### 環境にやさしいまちづくり

#### 住宅等のエコ化

太陽光発電  
遮熱塗装  
LED照明  
高効率空調器・給湯器  
燃料電池、省エネ改修等

#### 交通のエコ化

ハイブリッド車等エコカー  
電動アシスト自転車  
電気バス、ハイブリッドバス

### 環境共生型観光

#### 観光施設・レンタカー等のエコ化

観光施設等のエコ化  
レンタカーの電気自動車  
ハイブリッド観光バス

#### エコツアーのメニュー・ルール作り

サンゴ移植  
環境容量を配慮した新たなルール作り

### 新環境産業・リサイクルの推進

#### 再生可能エネルギー等の導入

メガワットソーラー  
LNGコンバインドサイクル発電  
木質バイオマス混合発電  
バイオ燃料(E3)  
風力発電

#### 環境関連産業の育成

省エネ改修関連産業  
太陽光発電等新エネルギー関係産業  
県内自生有用動植物活用産業

### ちゅら島の環境と開発の調和

多自然型河川・海岸の再生・整備  
林業の変革  
・グリーン・ツーリズム等  
・二酸化炭素吸収源

## 施策の具体例（目標等）

### ちゅら島の環境と開発の調和

- ・ 公共工事の自然環境配慮→県民の安全性等を確保しつつ、自然環境の再生
- ・ 海域への赤土等流出防止→特徴的な海域を決めて、流域の農地等からの赤土の流出を削減目標を定めて取り組む

### 環境共生型観光の推進

- ・ レンタカーの電気自動車化等\* →新車導入の半分を目指す。  
→将来的には、全てのレンタカーを目指す。
- ・ サンゴの移植体験ツアーなどのエコツーリズムの推進→新たな観光メニューの開発

### 環境にやさしいまちづくり

- ・ 太陽光パネル→戸建て住宅の5世帯のうち1世帯程度に設置を目指す（2020年）  
→将来的には、ほぼ全世帯への設置
- ・ 自家用車→本島30%、離島50%を電気自動車等への切り替えを目指す（2020年）
- ・ バス→改造した電気バスを沖縄の路線において実運用（H24年度～）を目指す。

### 新環境産業・リサイクルの推進

- ・ 電気バスの製造→バスを電気バスに改造する技術の確立、企業化（H23年度～）  
→加えて、電気バスへの改造技術を新たな分野への展開に繋げる。
- ・ 県有施設への太陽光発電施設等の再生可能エネルギーの率先導入  
→例：合同庁舎、うるま市特別自由貿易地域賃貸工場等へのメガワットソーラーの導入など
- ・ バイオ燃料の製造・導入  
→バイオエタノール混合ガソリンを全域へ普及、廃棄木材を全て木質バイオペレットとして利用
- ・ 次世代送電網→宮古島をモデル地区として推進、離島において島内のエネルギーを全て再生可能エネルギーでまかなうような実証モデル事業の創出を目指す。

\* 電気自動車化等：電気自動車、プラグインハイブリッド車等の環境対応車をいう。